

令和 8 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

- ・「いきよう」・・・安全・安心な教育環境を基盤に、児童生徒一人ひとりの命と人権を守る学校
- ・「のびよう」・・・児童生徒の知識の深化・技能の向上及び協働する心を育て、自立を支援する学校
- ・「てをつなごう」・・・南河内の歴史と文化に触れ、地域の人々とともに共生する学校

2 中期的目標

- 1 安全・安心で活力あふれる学校づくり
- (1) 危機管理体制を見直し、災害に備えるシステムを構築する。
- (2) 一人ひとりの人権を尊重した教育と健全な同僚性に基づいた組織運営を推進する。
- (3) 児童生徒の健康維持・管理と環境整備を行う。
- (4) 業務の効率化を進め、教職員が健康に職務を遂行できる環境を整備し、働き方改革を推進する。
- 2 特別支援教育の専門性および指導力の向上
- (1) 支援教育の専門性を発揮した授業を行うため、積極的な授業改善を図る。
- (2) ICT 機器の整備と更新を行い、授業での活用を推進する。
- (3) 新転任者、初任者、経験年数の少ない教員の育成の取り組みを行う。
- 3 児童生徒一人ひとりの「いきる力」を育む教育活動の推進
- (1) 卒業後を見据えた「いきる力」を育むためにキャリア教育の推進を図る。
＊学校教育自己診断（保護者）の「将来の希望や職業などについて適切な指導」項目の肯定的意見を令和 10 年度までに 95％とする。（ R 5 90％ R 6 92％ R 7 84％）
- (2) 児童生徒一人ひとりのニーズに合った自立活動を実施する。
- (3) 小・中・高の学部間連携や地域の学校との交流を推進し、児童生徒の社会性を育む。
- 4 支援教育のセンター的役割の充実と地域と連携したひらかれた学校づくり
- (1) 南河内地域における特別支援教育の支援力向上のため、関係機関との連携を深める。
- (2) 地元住民や地元企業との連携を深め、協働した取り組みを行う。
- (3) 障がい者スポーツの普及・啓発を行う。
- (4) 学校ホームページにおける情報発信のさらなる充実を図る。
＊学校教育自己診断（保護者）の HP に関する項目の肯定的意見を令和 10 年度までに 90％以上を維持する。（ R 5 82％ R 6 95％ R 7 93％）

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析〔令和 年 月実施分〕	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R 7 年度値]	自己評価
1 安全・安心な学校づくりの推進	(1) 危機管理体制を見直し、災害に備えるシステムを構築する。	(1) ア 防災マニュアルと BCP の修正と更新、防災訓練を計画的に実施する。	(1) ア 年 3 回以上[3 回]を維持。 学校教育自己診断における「学校は、防災に対する意識を高める取り組みを行っている」（教）95％以上維持[96%]	
		イ 災害時児童生徒引継ぎ訓練を実施する。	イ 年 1 回〔新規〕	
		ウ 防犯体制を見直し、マニュアルを作成する。	ウ 今年度中に作成〔新規〕	
	(2) 一人ひとりの人権を尊重した教育と健全な同僚性に基づいた組織運営を推進する。	(2) ア 教職員対象の人権研修を計画的に実施し、児童生徒に対する授業を行う。	(2) ア 教職員研修を年 3 回維持し、授業については全学部において 3 回以上を維持。〔研修年 3 回、授業各学 3 回以上〕	
		イ 安全衛生委員会のメンバーがハラスメント相談窓口となり、様々な方法で周知を図り、	イ ポスター掲示、教職員連絡で周知する。ストレス	

府立藤井寺支援学校

	(3) 児童生徒の健康維持・管理と環境整備を行う。 (4) 業務の効率化を進め、教職員が健康に職務を遂行できる環境を整備し、働き方改革を推進する。	相談しやすい体制を整える。 (3) ア 医療的ケアに関する知識や技能を深め、児童生徒の緊急時対応訓練を実施し、安全で円滑な医療的ケアを実施する イ 食物アレルギー対策委員会を定期的を実施し、事故を起こさない。 (4) ア 各校務分掌、委員会の次年度改編をめざし、業務を整理し素案を作成する。少人数会議やメール、チャットを用いた会議を実施する。アンケート調査などは保護者対象のものも含め、デジタル化を進める。 イ 学校行事や保護者懇談の日程を見直し、教員の負担減を図る。	チェック「総合健康リスク」90 以下 (3) ア 全学部、学期に1 回の緊急時対応訓練を実施し、学校教育自己診断「学校は、児童生徒の健康・安全について適切に対処している」(教) 95%以上を維持[98%] イ アレルギー事故年間0 回。教員研修1 回以上実施、教職員の研修理解度を80%以上とする。 (4) ア 分掌改編素案作成。教員の時間外在校時間年720 時間以上を0 人にする。 イ 学校教育自己診断における「働き方改革」に関する項目「学校は、働き方改革に関する取り組みを積極的に行っている」(教) 90%[86%]	
2 特別支援教育の専門性および指導力の向上	(1) 支援教育の専門性を発揮した授業を行うため、積極的な授業改善を図る。 (2) ICT 機器の整備と更新を行い、授業での活用を推進する。 (3) 新転任者、初任者、経験年数の少ない教員の育成の取り組みを行う。	(1) ア 肢体不自由児教育の専門性を高める研修を行う。 イ 専門教材を教材アーカイブとして集約、管理するシステムを整備する。 (2) ア ICT 機器の整理と点検を行い、古くなった機器を更新し、授業で使用しやすくする。 (3) ア 「初任者」「経験の少ない教員」の授業力・指導力を高めるため、指導教諭が中心となって10 年経験者研修やアドバンス研修の受講者をメンター、インターミディエイト研修者をチューター的存在とし、チームとして初任者をサポートする。	(1) ア 教員向け研修を行い、研修後の受講者アンケートの理解度 100%を維持 [100%] イ 学校教育自己診断「肢体不自由教育の専門性を備えている」(教)80%[78%] (2) ア 学校教育自己診断「学校はタブレットなどの情報機器を活用している」(教) 95%以上維持 [97%] (3) ア 学校教育自己診断「学校は教職員間の相互理解が十分になされ、信頼関係に基づいて教育活動が行なわれている」(教) 73% [70%]	

府立藤井寺支援学校

3 児童生徒一人ひとりの「いきる力」を育む教育活動の推進	(1) 卒業後を見据えた「いきる力」を育むために、キャリア教育を推進する。 (2) 児童生徒一人ひとりのニーズに合った自立活動を実施する。 (3) 小・中・高の学部間連携や地域の学校との交流を推進し、児童生徒の社会性を育む。	(1) ア 校内授業研究 (JSS) におけるオーダーをキャリア教育全体計画の項目に照応させ、指導略案に反映させる イ キャリア教育全体計画に基づいた個別の指導計画を作成する。 ウ キャリア教育に関する教職員研修を外部講師を招聘して行う。 (2) ア 視線入力装置などのコミュニケーションを支援する教材や身体の動きを高める教材を活用するなど、ニーズに合った支援を行う。 イ 自立活動通信を発行する。 (3) ア 学部間の交流授業を活発に行う。 イ 地域校との交流を各学部で実施する。	(1) ア 学校教育自己診断「あなたは、キャリア教育全体計画を踏まえた授業づくりや教育活動に取り組んでいる」(教) 90%以上[新規] イ 学校教育自己診断「学校は、小学部から発達段階に応じた生きる力をつける教育(キャリア教育)の推進ができている」(保) 95%以上[新規] ウ 年1回実施。 (2) ア 学校教育自己診断「児童生徒および保護者のニーズに合った自立活動を実施している」(教) 95%以上〔新規〕 イ 年間8回以上発行。〔10回〕 (3) ア 学部間交流年間1回ずつ実施。 イ 学校教育自己診断「学校は交流及び共同学習を積極的に行っている」(教) 90%〔89%〕	
---------------------------------	---	--	--	--

府立藤井寺支援学校

4 支援教育のセンター的役割の充実と、地域と連携したひらかれた学校づくり	(1) 南河内地域における特別支援教育の支援力向上のため、関係機関との連携を深める。 (2) 地元住民や地元企業との連携を深め、協働での取り組みを行う。 (3) 障がい者スポーツの普及・啓発を行う。 (4) 学校ホームページにおける情報発信のさらなる充実を図る。	(1) ア リーディングスタッフを中心としたチームによる巡回相談等の地域支援活動を積極的に行う。 イ 指導教諭との連携により地域支援の充実を図る。 (2) ア 防災に関する取組や情報交換等について、川北地区住民や地元企業と連携して行う。 イ 地域資源や学校ボランティアと連携した活動を推進する。 ウ 地域企業との連携（企業研修ボランティア）を行う。 (3) ボッチャ競技を通した児童生徒の育成と地域への普及。 (4) 学校ブログの積極的更新などで本校の魅力を発信し、内容の充実を図る。	(1) ア 巡回教育相談、教職員対象研修など 25 件以上[31 件] イ 地域校への巡回相談 3 件以上[3 件] (2) ア 2 件以上[新規] イ 13 件以上を維持[13 件] ウ 年 5 回以上[新規] (3) ボッチャ甲子園等外部競技大会に参加 出前授業、交流行事等を促進 3 件以上維持[5 件] (4) 学校教育自己診断「学校のホームページやブログを見たことがある」（保）95%以上維持〔95%〕	
---	---	---	---	--